

筑波大学 社会人のための博士後期課程

# 早期修了プログラム

**筑波大学は頑張る社会人の博士取得を応援します！**

## 早期修了プログラムとは

**〔最短 1 年で博士号を取得〕**

早期修了プログラムは、一定の研究業績や能力を有する社会人を対象に、標準修業年限が3年である博士後期課程を『最短1年で修了し課程博士号を取得するプログラム』であり、“頑張る社会人”を大学として応援するものです。本プログラムでは社会人として積み重ねてきた研究実績や経験を元にして、指導教員から論文作成の指導を受けて博士論文を完成させます。

また、この制度では、論文作成と共に学生が達成すべき項目(7項目)を設定して定期的に評価を行う「達成度評価システム」を採用し、履修生が達成度を確実に確認できるように配慮しています。併せて本プログラム自体が外部からの評価を受けることなどで、プログラムで授与する学位の質を保証しています。



Early completion program



## ■ 早期修了プログラムを履修するためには

早期修了プログラムは、「一定の研究業績」や能力を有する社会人の方を対象としています。入学試験（社会人特別選抜）合格後、入学手続き（3月上旬の予定）までの間に研究科又は専攻指定の書類を提出し、プログラム適用の審査を受けることになります。研究科又は専攻の指定する書類は、「希望者概要（履歴書、最終学歴における専門分野、業務内容と志望分野の関係等）、業績リスト（プログラム審査要件に関わるもの）、達成度に関する自己評価書、博士論文の構想」等であり、これらの書類を基に「一定の研究業績」を有する者か否かを判断します。なお、必要に応じて面接を課す事になりますが、審査及び審査手続き書類の詳細は、入学試験合格通知書と一緒に送付いたします。

この審査において早期修了プログラムの履修が適当でないと判断された場合は、通常の入学として取り扱われますので、課程修了のためには、標準3年の在学が必要となります。ただし、通常の入学となった場合においても、在学中に優れた研究業績を挙げたと認められる場合は、従来の早期修了制度の適用が可能となりますので、その場合においては、3年未満（1年数ヶ月から2年数ヶ月）での修了が可能です。

なお、早期修了プログラムを履修する者が、勤務先の都合等により1年間で修了できなかった場合には、引き続き在学中、課程修了を目指していただくことになります。この場合にも、3年未満での修了が可能です。また、現職の都合等により休学も可能となっております。

## ■ プログラムにおける教育及び研究指導

e-learning、ゼミ等グループ指導型のTV会議システム、指導教員と学生の個別指導型のインターネットテレビ電話などのコミュニケーションシステムを活用することによって、筑波キャンパスと東京キャンパスのDual-Campusを実現し、社会人に対する多種多様な指導体制の確立を進めています。

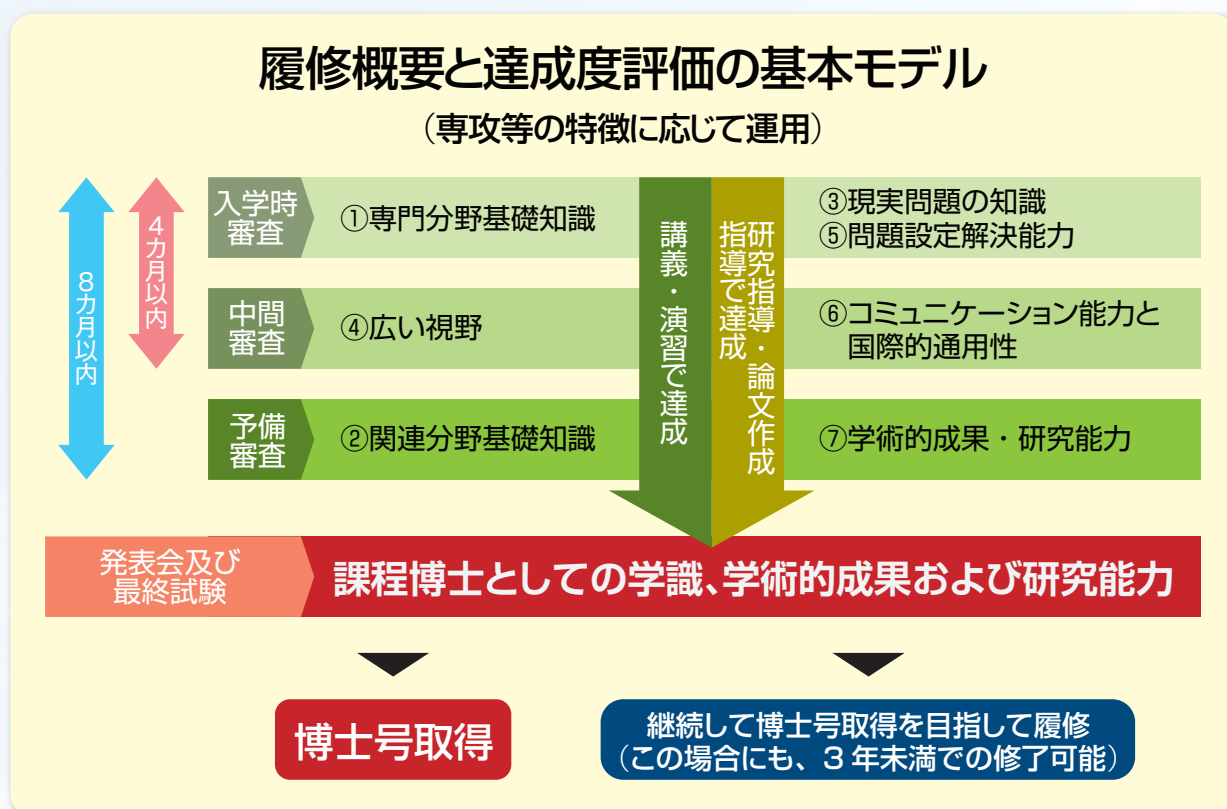
## ■ 達成度評価システムとは

入学時、中間審査（入学後4ヶ月以内）及び予備審査（入学後8ヶ月以内）等の3段階（あるいはそれ以上）の審査ステージにおいて、学生の自己評価及び教員による評価を基に課程博士の学位にふさわしいレベルに達しているかを7項目について評価するシステムです。

【達成度評価】

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| ①専門分野基礎知識   | ②関連分野基礎知識           |
| ③現実問題の知識    | ④広い視野               |
| ⑤問題設定解決能力   | ⑥コミュニケーション能力と国際的通用性 |
| ⑦学術的成果・研究能力 |                     |

下図では、本プログラムの評価項目（7項目）を各ステージで順次達成していく例を示しました。達成度審査はこのような流れを基本としていますが、研究科によっては3ステージ以上の場合もあり研究科・専攻の特性に合わせて運用されます。





## ■ 対象とする方

一定の研究業績を有する社会人

## ■ 入学時期

毎年4月

## ■ 実施研究科・入試時期

【筑波キャンパス】入学試験：8月期入試及び2月期入試の社会人特別選抜

実施研究科	実施専攻
数理物質科学研究科	数学、物理学、化学、ナノサイエンス・ナノテクノロジー、電子・物理工学、物性・分子工学、物質・材料工学
システム情報工学研究科	社会工学（社会工学学位プログラム）、リスク工学、コンピュータサイエンス、知能機能システム、構造エネルギー工学
生命環境科学研究科	地球進化科学、生物科学、国際地縁技術開発科学、生物圏資源科学、生物機能科学、生命産業科学、持続環境学、環境バイオマス共生学（一貫制博士課程第3年次編入学）

【東京キャンパス】入学試験：9月期入試（コース別に実施）及び第2次募集

実施研究科	実施専攻
ビジネス科学研究科	企業科学（夜間社会人大学院）

募集要項は、入試実施の約3ヵ月前から公開される予定です。

請求方法については別紙「早期修了プログラム審査要件」をご参照ください。

## ■ プログラム審査要件

<https://www.souki.tsukuba.ac.jp/sinsa/>

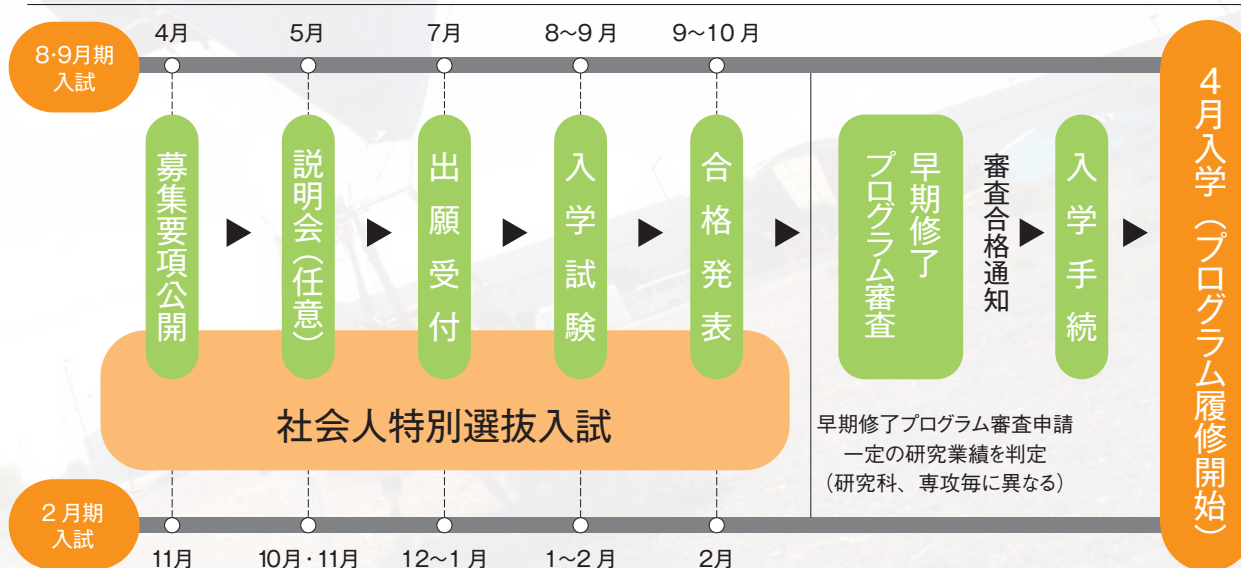
早期修了プログラムウェブサイトまたは別紙「早期修了プログラム審査要件」をご参照ください。

## ■ 2018 年度 研究科別履修者数・修了者数

履修者数：ビジネス科学 1 名、数理物質科学 7 名、システム情報工学 6 名、生命環境科学 19 名 計 33 名

修了者数：ビジネス科学 1 名、数理物質科学 3 名、システム情報工学 5 名、生命環境科学 18 名 計 27 名

## ■ 早期修了プログラム入学までの流れ



※入学時期はどの研究科、どの入試時期でも毎年4月になります。

## よくある質問

**Q1:** 博士後期課程と博士課程はどう違うのですか？また、博士前期課程でも博士号は取得できるのですか？

**A1:** 一般的に大学院は修士課程、博士課程からなり、修士課程を修了後進学するのが博士課程です。本学で実施する「博士後期課程早期修了プログラム」は、修士課程修了者が進学するいわゆる博士課程です。

なお、博士前期課程、博士後期課程というのは、大学院5年を前期2年、後期3年に区分して設置したものであり、設置上の区分の名称です。博士前期課程はいわゆる修士課程ですので、博士号の取得はできません。

**Q2:** 早期修了プログラムを履修する場合、通学頻度はどれくらい必要ですか？

**A2:** 週に1回の通学を目安としていますが、詳細は志望指導教員までご相談下さい。

ただし、ビジネス科学研究科については志望指導教員への事前連絡を受け付けておりませんので、ビジネス科学研究科対応の支援室までご相談下さい。

**Q3:** 1年で取得した博士号は、質が低いという評価になりませんか？

**A3:** 本プログラムで取得できる学位は博士(甲)であり、これは通常の博士課程を修了した学生が取得できる学位と同等です。

また、本プログラムでは、課程博士の学位に相応しいレベルに達しているかを個々の学生毎に評価する「達成度評価システム」において定期的に検証するとともに、外部評価委員会を設置し学位授与プロセス全体を第三者が評価することによって、博士号の質及び社会的評価の確保を行うこととしており、同等若しくはそれ以上の質(水準)を有するとの評価を受け得るものと考えています。

**Q4:** 修士号を取得していない、もしくは修士相当課程を1年で修了したのですが、このプログラムを受けられますか？

**A4:** 修士号を有していない方は出願前に当該研究科の出願資格審査において、「本学において修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者」と判定された場合には、通常修士同等として入学試験を受験することができ、合格した場合、プログラム審査を受けることができます。

また、博士課程の修了には、修士相当課程の在学年数を含め、最低3年以上の在学年数が必要となります。修士相当課程を1年で早期修了した場合には本プログラムを受けることができません。詳しくは早期修了プログラム事務担当までお問い合わせ下さい。

## 入学に必要な経費(2019年度の例)

検定料: 30,000 円 入学金: 282,000 円 授業料: 535,800 円 (年額)

※入学時及び在学中に、学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

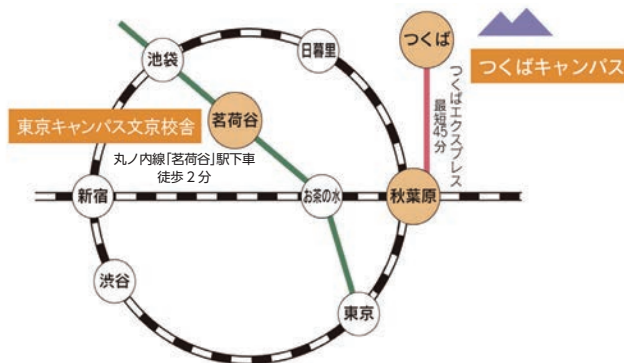
## 問い合わせ先

【プログラムの体制・制度に関するお問い合わせ】

筑波大学早期修了プログラム事務担当※1

☎ 029-853-7631

✉ souki@un.tsukuba.ac.jp



【研究分野・プログラム審査要件に関するお問い合わせ】

研究科	連絡先	電話番号等
数理工学科学研究科※1 <a href="http://www.pas.tsukuba.ac.jp/">http://www.pas.tsukuba.ac.jp/</a>	数理工学エンジニア支援室 大学院教務	☎029-853-4030 jimupas@un.tsukuba.ac.jp
システム情報工学研究科※1 <a href="http://www.sie.tsukuba.ac.jp/">http://www.sie.tsukuba.ac.jp/</a>	システム情報エンジニア支援室 大学院教務	☎029-853-4979 sysinfo.kyomu@sie.tsukuba.ac.jp
生命環境科学研究科※1 <a href="http://www.life.tsukuba.ac.jp/">http://www.life.tsukuba.ac.jp/</a>	生命環境エンジニア支援室 大学院教務	☎029-853-7808 seimeiin@un.tsukuba.ac.jp
ビジネス科学研究科※2 <a href="http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/">http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/</a>	社会人大学院等支援室 教務	☎03-3942-6918

※1 対応時間: 月～金曜日 9:00～17:00 (昼休み: 12:15～13:15) (土・日・祝日及び年末年始を除く)

※2 対応時間: 月曜日 10:00～18:30 火～金曜日 10:00～21:10 土曜日 11:40～20:00 (日・祝日及び年末年始を除く)



筑波大学  
University of Tsukuba

<https://www.souki.tsukuba.ac.jp/>

2019年5月

## [別紙] 早期修了プログラム審査要件

履修に必要な論文数・口頭発表数(2019年4月現在)

研究科	専攻	査読付き学術論文数	口頭発表数
数理物質科学	数学	論文2編以上 (国際学術誌に掲載済みまたは掲載を認められたもの。1編は単著であること。)	発表数は問わない
	物理学	論文3編以上 (国際学術誌に掲載済み、または掲載を認められたもの。)	発表数は問わない
	化学	筆頭著者の論文あるいは貢献度の高い論文、合わせて3編以上 (国際学術誌(査読付き国際会議論文を含む)に掲載済み、または掲載を認められたもの。)	発表数は問わない
	ナノサイエンス・ナノテクノロジー	筆頭著者の論文あるいは貢献度の高い論文、合わせて3編以上 (国際学術誌(査読付き国際会議論文を含む)に掲載済み、または掲載を認められたもの。)	発表数は問わない
	電子・物理工学	論文3編以上 (国際学術誌に掲載済みまたは掲載を認められたもの。筆頭著者に限る。)	発表数は問わない
	物性・分子工学	論文3編以上 (国際学術誌に掲載済みまたは掲載を認められたもの。筆頭著者に限る。)	発表数は問わない
	物質・材料工学	論文4編以上 (国際学術誌に掲載済みまたは掲載を認められたもの。筆頭著者に限る。)	発表数は問わない
システム情報工学	社会工学 (社会工学学位プログラム)	査読付き学術論文2編以上 (筆頭著者であることが望ましい。)	発表数は問わない
	リスク工学	査読付き学術論文1編以上 (筆頭著者であることが望ましい。)	口頭発表資料2編以上 (査読付き国際会議論文が望ましい。)
	コンピュータサイエンス	査読付き学術雑誌論文1編以上 (査読付き国際会議論文でも認められる場合がある。主たる著者であること。)	発表数は問わない
	知能機能システム	査読付き学術論文2編以上 (1編は査読付き国際会議論文でも認められる場合がある。原則として筆頭著者であること。)	国際会議口頭発表1件以上 (原則として筆頭著者であり、自身が発表したもの。ポスター発表を含む。)
	構造エネルギー工学	査読付き学術論文2編以上 (筆頭著者であることが望ましい。)	口頭発表資料2編以上

研究科	専攻	査読付き学術論文数	口頭発表数
生命環境科学	地球進化科学	筆頭著者の原著論文2編以上 (査読付の国際学術誌に掲載済みもしくは掲載可(in press)であること。)	
	生物科学	筆頭著者の原著論文2編以上 (査読付の国際学術誌に掲載済みもしくは掲載可(in press)であること。)	
	国際地縁技術開発科学	筆頭欧文論文2編以上または筆頭和文論文4編以上または筆頭欧文論文1編と筆頭和文論文2編以上 (査読付の学術誌に掲載済みもしくは受理(accepted)であること。)	
	生物圏資源科学	筆頭著者の原著論文2編以上 (査読付の国際学術誌に掲載済みあるいは掲載可(in press)であること。)	
	生物機能科学	筆頭著者の原著論文2編以上 (査読付の国際学術誌に掲載済みもしくは掲載可(in press)であること。)	
	生命産業科学	筆頭欧文論文2編以上または筆頭和文論文4編以上または筆頭欧文論文1編と筆頭和文論文2編以上 (査読付の学術誌に掲載済みもしくは掲載可(in press)であること。)	
	持続環境学	筆頭著者の原著論文1編を含む原著論文2編以上 (学術誌に掲載済みもしくは掲載可(in press)であること。)	
	環境バイオマス共生学 (一貫制博士課程)	筆頭著者の原著論文2編以上 (査読付の国際学術誌に掲載済みもしくは掲載可(in press)であること。)	
ビジネス科学	企業科学 (システムズ・マネジメントコース)	学術誌に掲載された査読付き論文2編以上	
	企業科学 (企業法コース)	2編以上の査読付き学術論文相当 ただし、うち1編は10万字程度の分量があること	

## 募集要項の請求について

下記のウェブサイトよりダウンロードできます。

郵送、電話およびE-mailによる請求には応じられませんのでご注意ください。

筑波キャンパス	東京キャンパス
学生募集要項ウェブサイト <a href="http://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp/">http://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp/</a>  ▼大学院入試に関するお問い合わせ 〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学教育推進部教育推進課大学院入試担当 TEL : 029-853-2230, 2231	東京キャンパスホームページ <a href="http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/">http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/</a>  ▼ビジネス科学研究科大学院入試に関するお問い合わせ 〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1 筑波大学社会人大学院等支援室教務 TEL : 03-3942-6918



筑波大学大学院は、現在の組織を改組し、2020年4月から  
全学が学位プログラム制に移行する予定です

(構想概要についてはHPを参照ください)

<http://www.tsukuba.ac.jp/education/degree-program.html>

### － 筑波大学大学院の教育改革 －

開かれた教育体制の下で  
学生の個性と能力を開花させる学位プログラムを展開し  
豊かな人間性と創造的な知力を養い  
積極的に社会に貢献する人材を育成します

2019年3月29日



本資料の内容は筑波大学における構想（2019年3月現在）であり、今後変更する場合があります。  
（2019年度に文部科学省への設置申請手続きを行う予定）

## 2019年度に実施する入学試験について

当資料の新しい大学院構想については、本年4月末に、文部科学省への設置申請手続きを行うべく、準備を進めています。

申請後、設置認可の可否が決定するのが8月末のため、認可の可否が出るまでは、現在の研究科・専攻で入試を実施いたします。

したがって、4月末に募集要項を公表する「2019年7月期～10月期（東京キャンパスは7月期～11月期）の入試」は現専攻で実施し、設置認可されたのち2020年4月より学位プログラム制に移行した新たな大学院で学ぶことになります。

なお、専攻と学位プログラムの対応関係を理解いただいた上で、入試の出願ができるよう、募集要項の公開と同時期（4月末）に、より詳細な資料をホームページで公表予定です。